



「むごい教育」

校長 長友充男

「竹千代（後の徳川家康）には『むごい教育』を施せ。望むものは全て否定せず、何でも与え、やりたいことは何でもさせるのだ。」



8歳で人質になった家康（幼名：竹千代）にその才能を見出していた今川義元が、家臣に命じたとされる逸話です。「朝から晩まで、海の幸や山の幸あふれる贅沢なご馳走を好きなだけ与えてやれ。寝たいと言ったらいつでもいくらでも寝かせてやれ。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやれ。学問が嫌だと言うならやらせるな。何事も、好き勝手にさせたらよい。そうすれば大抵の人間はダメになる。」対立する大名家に有望な後継者を作らせない、そんな思惑があったと想像できます。

「むごい」を辞書で調べてみると、「あまりにもひどい、痛ましい」「思いやりがない。無慈悲」とありました。本当の愛情を持った教育とは対極の言葉でしょうか。

子どもたちの教育や子育てを考えると、よくこの逸話を思い出します。本当の愛情を持って指導してきただろうか。むごい教育をしてこなかったか。このやり方で将来、この子は本当にたくましく、自立した人間として育つだろうかと振り返るのです。

さて、令和4年がもうすぐ終わります。子どもたちには、この1年の始めに立てた自分の目標への取り組みがどうだったかを振り返ってほしいと思っています。しっかりとした振り返りとともに、新たな年への希望や目標を持つことができる冬休みとなるよう願っているところです。



どうぞ良い年をお迎えください。

1月の主な行事予定

- 1日（日）（祝）元日
- 8日（日）第4回谷山ふるさと歩こう会
- 9日（月）（祝）成人の日
- 10日（火）始業式 保健指導強調月間
- 11日（水）C校時 校内書初め大会（～14日）
- 13日（金）あいご定例会
- 14日（土）土曜授業
- 16日（月）給食週間（～20日）
- 17日（火）鹿児島学習定着度調査 5年（～18日）
谷山中学校入学説明会 6年
- 18日（水）C校時
- 20日（金）交通安全の日
- 25日（水）C校時
- 26日（木）学校保健委員会

おいしい給食の紹介

第2回PTA運営協議会にて、グループディスカッションがありました。その中で、「子どもたちが谷山小学校の給食がとても美味しいと言っているので、給食を見てみたい。」とありました。早速、11月から給食の写真を学校のブログに掲載することにしました。是非、ご覧ください。



12月行事等のハイライト

「友情の森」整備完了

12月1日(木)、友情の森の整備が完了し、式典を行いました。式典には、緑の基金の方、募金を担当して下さっているコンビニエンスストアの方、造園業の方に来賓としてお越しいただきました。総務委員会の代表児童が、「今後も森を大切にしていきます。」と述べました。



よみきかせたい20周年記念

12月10日(土)、よみきかせたい創立20周年記念イベントを行いました。絵本作家のさめしまことえ氏を講師としてお招きし、6年生を対象に講話や読み聞かせ等を行っていただき、とても楽しそうでした。よみきかせたいの皆様、今後どうぞよろしくお願いたします。



校内なわとび大会

12月6日(火)、学年ごとに分かれて、なわとび大会を行いました。1分間持久跳びや学年に応じた技に挑戦したり、学級対抗長縄跳びなどに挑戦したりしました。練習では跳べなかった技が初めてできたり、長縄で最高記録が出たりと保護者の皆様の声援に応えることができました。



谷小応援団による門松づくり

12月18日(日)、谷小応援団の方が正門前に門松を作ってくださいました。事前に竹や飾りなどを準備されていたり、例年作っていらっしゃるの慣れていたため、スムーズに作業が進みました。今年も立派な門松が完成しました。応援団の皆様、ありがとうございました。



AIドリルを活用した学力向上

本校では、AIドリル(navima)を活用しながら学力向上を図っています。鹿児島市教育委員会からnavima実証校に指定され、これまで以上に活用していきます。授業中はもちろん、タブレットを持ち帰らせ家庭学習や長期休業中などにも取り組んでいきます。実証の目的は、以下の3点です。

- 1 navima分析データの活用による学力向上
- 2 教員のデータ活用による指導の改善
- 3 活用事例の市内他校への普及



谷山小学校は、1クラス35人程度在籍しています。教師にとってクラス全体の進捗を可視化し、効率的な指導をすることが難しい場合もありました。navimaを活用することで、教師が一人一人の学習状況を把握し、つまづいている子を一目で判断できるため、効率的な指導を行えます。サポートを必要としている子に手が届き、より一人一人に向き合った指導を実現していきます。